

カイロ、パリ、ニューヨーク。三大陸の文化を心に宿す奇跡のピアニスト

アンリ・バルダ ピアノ・リサイタル

Henri BARDA Piano Recital

深い詩情
往年の
コルトレーを
思わせる

【プログラム】

J.S.バッハ：平均律クラヴィーア曲集第1巻より

シューベルト：即興曲より

シューベルト：ピアノ・ソナタ第21番 変ロ長調 D.960 他

*演奏者の希望により、曲目が当初より変更となりました。予めご了承下さい。

Photo: Jean-Baptiste Millot

2017年 11/8 (水) 19:00開演 (18:30開場) 東京文化会館 小ホール

チケット：全席指定 6,000円(税込) / 6月15日(木) 10:00 一般発売

お申込み・お問合せ：コンサートイマジン 03-3235-3777 (10~18時/日祝除く)

<http://www.concert.co.jp> (HPからもお申込み可)

チケットぴあ 0570-02-9999 【Pコード329-716】

イープラス <http://eplus.jp/>

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

*プログラムは変更になる可能性もございます。予めご了承ください。
*未就学児入場不可。



主催：コンサートイマジン

後援：在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本/一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

深淵なる詩情が辿り着く先は

2年ぶりの来日ツアーに向け、今年76歳の巨匠の心はいま、シューベルトに向いている。「どうしても今、シューベルトが弾きたい気分なんだ。」パリでそう語っていたバルダ。

ショパンやブラームス、ラヴェルなどの作品を十八番として来た彼だが、日本でシューベルトの作品を披露するのは今回が初めてとなるだろう。また、バッハの平均律第1巻も彼がずっと日本での演奏を熱望していた曲目だ。めったに実演に出会うことができない“神秘のピアニスト”による初公開プログラム。11/8、東京で歴史的名演が生まれるのか。その瞬間を楽しみに待ちたい。

アンリ・バルダ (ピアノ) Henri Barda, *Piano*

古きヨーロッパの良き伝統を受け継ぐ、稀有なピアニスト。

往年のコルトーを彷彿とさせるその深い詩情と多彩な感情表現は、世界各地で高く評価されている。

3歳から、ホロヴィッツが生涯で最も恐れたライバル、イグナス・ティエガーマンに特別指導を受けた他、16歳より巨匠ラザール・レヴィに師事。

パリ国立高等音楽院ではジョセフ・ベンヴェヌッティ、マドレーヌ・ジロドー、ジャン・ユボーのもとで学び、ピアノと室内楽を首席で卒業。ジュリアード音楽院へも完全給費生として留学し、首席で卒業。以後ヨーロッパ各国をはじめ、米国、イスラエルなど世界中で演奏を行う。またパリ・オペラ座他、バレエ団のピアニストも務め、多くの信頼も得ている。

日本においては、1981年N響定期(マーツァル指揮ショパン「ピアノ協奏曲第2番」)で初来日。最近では2002年トッパンホール、2008・2010年と紀尾井ホールにてリサイタルを開催した他、2013年には都響定期(カエターニ指揮 ベートーヴェン ピアノ協奏曲第3番)に出演。

パリ国立高等音楽院教授を経て、2006年より現在までパリ・エコール・ノルマル音楽院教授として教鞭を執っている。日本では神戸でマスタークラスを毎年開催。

2013年には青柳いづみ共著「アンリ・バルダ 神秘のピアニスト」が出版され、名著として揺るぎない評価を得ている。

2015年9～10月には、長野、東京、横浜、名古屋、神戸、愛媛で計6公演を行い、特に9/26の東京・浜離宮朝日ホール公演は満員御礼、大盛況ののちに幕を閉じた。

2017年3月には、パリの殿堂サル・ガヴォーにてリサイタルが大成功を収めたほか、今後パリ、香港やナンシー他、世界各地で多くの公演やマスタークラス等に招かれている。

今秋、再びの日本ツアーに期待が高まる。



2017年3/24(金) パリ、サル・ガヴォー公演 批評より

間違いなく、アンリ・バルダの中にはフリードマンやティエガーマン、またホロヴィッツやラザール・レヴィなどの魂が息づいている。

この華麗で素晴らしい演奏スタイルの中で、音のコントロール、翼の生えたようなフレーズ、レガートなどは特に大変素晴らしい。彼は鍵盤の押さえ方、音の包みこみ方を熟知していて、やわらかく音楽にエネルギーを注ぎ込んでいく。アンリ・バルダは、最高レベルの雄弁な贈り物の持ち主である。 “La lettre du Musicien” (音楽誌)

2017年来日ツアー予定

- 10/29(日) 横浜港南区民文化センター ひまわりの郷(神奈川)
- 11/2 (木) 高崎シティギャラリー(群馬)
- 11/5 (日) 長野市芸術館 リサイタルホール(長野)
- 11/8 (水) 東京文化会館小ホール(東京)

